

第404回市（入札日 2017年3月31日）

— 3月市ながら活況。ナラはじめ全体に高値 —

出品量は3,375 m^3 と、昨秋以来、初めて前年並み（99.4%）になり、前回より277 m^3 （8.9%）の増となりました。前回までに今シーズンの目標数量が確保できたとして入札を手控える買い方さんもおられましたが、その一方で、ナラやメジロの良材には20万円を超える入札があり、平均単価も3月としては2013年度以来の高水準となる52,975円/ m^3 と、総じて活況でした。そのような中で、特に強く印象に残ったのがポプラとシラカバです。ポプラの大丸太はテーブル天板などに用いられるとのことで、50cm前後の玉に10万円前後から20万円台半ばの値がついていました。シラカバには、そのような高値は望むべくもありませんが、1万円台後半から、中には2万円を上回るものがみられ、目をひきました。

次回（第405回、4月28日）は2,500 m^3 の出品が目標で、官材の出品もあるとのこと。また、ロシア材は現地での伐採が完了したため、次回出品分がシーズン最後の玉になるそうです。

○出品数量

官材・単 桧	45.9 m^3	68桧	73本
官材・ロット	- m^3	- 桧	- 本
民材・単 桧	2,852.5 m^3	3,253桧	8,111本
民材・ロット	476.8 m^3	74桧	3,249本
計	3,375.2 m^3	3,395桧	11,433本

（樹種別）

タモ691.9 m^3 ・1,726本、マカバ20.2 m^3 ・34本、セン205.7 m^3 ・496本、ナラ1,056.0 m^3 ・3,518本、ニレ62.4 m^3 ・137本、キハダ22.9 m^3 ・81本、クルミ56.5 m^3 ・264本、アサダ22.5 m^3 ・91本、ホホ53.7 m^3 ・296本、エンジュ14.8 m^3 ・159本、カツラ67.4 m^3 ・158本、ザツカバ133.9 m^3 ・474本、シュリ4.3 m^3 ・20本、イタヤ128.2 m^3 ・635本、サクラ31.9 m^3 ・127本、シナ145.7 m^3 ・613本、メジロカバ481.2 m^3 ・2,195本、ウォールナット41.8 m^3 ・34本、アオダモ7.0 m^3 ・35本、その他111.5 m^3 ・285本、（広葉樹計3,359.5 m^3 ・11,378本）、イチイ5.8 m^3 ・45本、アカエゾマツ0.0 m^3 ・0本、クロエゾマツ8.0 m^3 ・8本、カラマツ他1.9 m^3 ・2本、（針葉樹計15.7 m^3 ・55本）

○販売数量 3,279.7 m^3 （元落ち率2.8%）

○販売金額 1億7,374万円（1 m^3 あたり平均52,975円（前回44,420円））

○主要樹種の平均単価（1 m^3 あたり、カッコ内は前回）

タモ	83,615円（40,424円）	キハダ	22,185円（36,754円）
マカバ	84,487円（59,940円）	カツラ	28,436円（31,043円）
セン	42,887円（42,826円）	ザツカバ	22,873円（40,166円）
ナラ	59,273円（61,208円）	メジロ	43,609円（53,027円）
ニレ	23,865円（17,367円）		

○高値（1 m^3 あたり、外材・イチイ・エンジュは除く。）

- ①519,900円（マカバ 2.6 m 、42cm、1本、0.459 m^3 ）
- ②469,000円（セン 8.0 m 、54cm、1本、2.509 m^3 ）
- ③431,000円（タモ 4.0 m 、52cm、1本、1.082 m^3 、ロシア材?）

2016年4月13日作成（嶋瀬）